

妹
の
み
ぞ
知
る
セ
カ
イ





そういう場合は、
あることがす
つと裏になっ
ていますか？

ああ、やはり一度
に七人も召喚する
のは疲れる

ご苦労様でし
た、綾乃さま



それとも彼を思っ
てエ
ッチなことをしま
す
か？……ひひっ

右代宮戦人、あなたに
とって、本当はただの
お兄ちゃんなの？



…戦人お兄ちゃんは私
の大事な家族だ・そう
いうのはありえない！
そういうのは…

う・そ・で・す・ね♡

毎日聞こえていますよ…綾寿さまのエッチな妄想は…

ホッケー

たとえば「戦人お兄ちゃんのがとても大きい…早く入れてよ」とか…♡

綾寿さまが右代宮戦人を占有したい欲望、私マモンには全部わかりますよ

もしくは「綾寿のおまんこはお兄ちゃんのお尻に…♡」

無邪気な顔をした綾寿は、実は綾寿の心の奥に、戦人への執着が隠れている。それは、綾寿の心の奥に、戦人への執着が隠れている。それは、綾寿の心の奥に、戦人への執着が隠れている。



大丈夫、リラ
ックスして

…いいのが…戦人お兄ち
やんとあんなことを…

ん…



うん…



?!

よう、縁寿、久しぶりだな、
よく育てるな、最初は誰かが
わからないよ

…ニニニ…?



戦人お兄ちゃん……!!?

へへ、本当に久しぶりだな、縁寿の胸はすっかり大きくなったな……

お兄ちゃんとはある悪い魔文に捕まえたので、今やっと帰ることができた。ごめんね……

……縁寿!? 突然どうしたの……

まあ……だからお兄ちゃんはずいせんとお持ちしていないくて、本当にごめん……次回は一緒に……

いつも一人でメシを食べるのはどうな気持ちかわかるの...そんな日々の中...ずっとお兄ちゃんのみんなが帰ってくるのを待っていたよ...私...私...

寂しかったよ...バカ...!

お兄ちゃんのおバカもの...

とも関わらない...

あの心配性なガキのままだな、右代宮戦人——お兄ちゃんがお前の目の前にいるよ・好きなだけ甘えていい

…まったく…何
かっこうつけて
るの、笑わせな
いでよ…



お兄ちゃんこ
そ、何もかわっ
ていないね…

ひゃあ……!?



しゅっ
かッ

何するの…突然さわ
りはじめて…

それは縁寿が俺をきつく抱きつ
いて…胸もこんなに密着して
るので…お兄ちゃんはもう我慢で
きかないよ、へへ



あ…すまんすまん…こめ
んね…お兄ちゃんにはちよ
っとやりすぎだな…怒ら
ないで

あの…お兄ちゃんのムラム
ラを解消するのも、妹とし
て当然のことだ…大人お兄
ちゃんなら…



あつ... ちゅわん

あの... やはりちゅわんのこと... っぱり大きいな... 手の平におさまらないほどに...



ん... ああっ...

一口で二つの粒を食べたいな...

ちゅわん

んっ... お兄ちゃん...!

お兄ちゃん…
お願い…キス
して……

んん…

んんん…
んんん…

んん…

戦人お兄ちゃんは
おっぱいが好きだ
ろう…今度は私の
番だ…

んんん…

好きなのか……?

このように…お
っぱいに…はさ
まれて…

うん…お兄ちゃんの
ベッドの下の本で
は…こうして…はさ
まってるから動かす…

んんん…

んんん…
んんん…



すごく濃い…戦人
お兄ちゃんの味が
する…

キレイにしてあ
げようか…

…縁寿…

んん…また大
きくなった…
戦人お兄ちゃ
んの…



お兄ちゃんが…縁寿
の下の口に挟まれた
い…いいの？

私も…お兄
ちゃんの
欲しい…





お前さんの胸...お尻は...
とやがて...服は...
入って...

うわ...うわ...

うわ...うわ...
うわ...うわ...

うわ...うわ...

...んんっ...

入ってきた...

うわ...うわ...

夫か?

うわ...

戦人お兄ちゃんのア
レ…おまんこの中で…
こすれて…もう我慢で
きないよ…♥

お兄ちゃんのチンポは
そんなに気持ちいいの
か…なら…もっと所持
ちよくさせる…!!

んんう…!!

ちゅっ
はっ
ちゅっ

んんう

ト
ッ

おまんこ #2...



お、お兄ちゃん...
聞いて...

お、お兄ちゃん...
はあ...!!

んんっ...!!
そろそろいく
よ...縁寿!!!

ん...出して...全部
出して...

グググ
グググ

はあ…
ああっ…!

んんう…

はあ…
ああっ…

ビュッ

ん

…ん

…ん

…ん

…ん

…ん

はあ…あん…お兄
ちゃんのが…いっ
ぱい…

くく…
そなたね…

…やさしいね、戦人
お兄ちゃんは…

ずっと一緒にいたい
な…しかしもう行かね
ばならないの…

上半身が裸のまま
では風邪ひくぞ、
俺の上着を着るか

え？

See you again.

あはよう・朝から心
ここにあらすの様子
じゃ、情けないな

!?

.....
ここに来てから夢を
みるのは久しぶり
だ...だが記憶があま
りはっきりしない...

なんだ？まだ隅で泣くこ
としかできないの？妾に
屈服するか？嗎？

ああ、駄目だな、全
然駄目だぜ——！

前回見た赤い髪の女が夢
の中に出てきたような...
そうだ、彼女の名前を
呼んだ気が...字...

右代宮戦人.....

何か魔女幻想だ…
全部否定して
みせる！

もうお前の子供だましには引
つかからないぞ…ベアト！！

妾にとっても望むと
ころよ。では、次の
ゲームを始めよう
か？

ちょうど新しい駒が入って
くる頃ね…くっくっくっ
く…

Fin



妹のみぞ知るセカイ

PRESENTED BY

真冬 / 感電少女注意報